

平成23年度くり剪定技術等研修会を開催しました

茨城県くり生産者連絡協議会

茨城県のくりの品質向上と儲かるくり作りを目指して、平成23年12月9日（金）、かすみがうら市の千代田公民館及び現地くり園において園芸いばらき振興協会と共催で研修会を開催しました。

この日は、初雪が降る寒い一日でしたが、JA栗部会等の会員に加えて、一般のくり生産者の参加もあり関心の高さがうかがわれました。

研修会は川上会長「生産・出荷量を増やし、県産くりの消費拡大を目指す。」との主催者あいさつで始まりました。

午前の部は、県園芸研究所の門脇主任より、渋皮が簡単にむける新品種「ぼろたん」の特徴を栽培から生産出荷体制、加工技術と全般にわたる講演、続いて、本県くり生産販売の先駆者で、カリスマ的存在の四万騎農園代表 兵藤 保氏より、「農業は情報産業」、「若い農業者が育つには」など現在の農業事情を変えるヒントを語られました。くりの販売は独自の理念の価格設定で、次元の高いくり生産経営を展開しています。お二方の講演は、今後、くり生産者の目を輝かせる魅力あるものになったと確信されます。

午後の部は、「ぼろたん」の剪定の現地研修を講演に引き続き、門脇主任が講師で行いました。くり生産者は、低樹高、日当たり、大玉生産などを目指した説明、実技に熱心取り組み、病虫害の質問も飛び出すなど高い関心を示しておりました。

さらに、ヨウ化メチル剤の使用、農産物マッチングサイトに係る情報提供も行われました。

また、この日の弁当は、くりの消費拡大は身近からと栗入り稲荷ずしを堪能しました。



川上会長あいさつ



四万騎農園代表 兵藤 保氏 講演



ぼろたんの剪定研修



ぼろたんの剪定研修

